

2011 年度 JIP 報告書

外国語学科 日本語専攻
19208210 北村瑞穂
19908217 田村莉奈
外国語学科 外国語専攻
19308041 竹中唯希
19608052 橋本知佳

派遣先：韓国
慶南大学

研修期間：2011 年 9 月 8 日～9 月 28 日(3 週間)

生活費：35000 円～50000 円(渡航費・宿泊費は含めず)

【スケジュール】

日	月	火	水	木	金	土
				8 対面	9 授業参観	10 休み
11 休み	12 休み	13 休み	14 授業参観	15 授業参観	16 授業参観 教案作成	17 休み
18 休み	19 授業参観 教案作成	20 授業参観 教案作成	21 授業参観 授業実習	22 授業参観 教案作成	23 授業参観 授業実習	24 休み
25 休み	26 授業参観	27 授業参観	28 帰国			

9/10～9/13 はチュソクという日本でいうお盆の期間だったので、その間学校はお休みでした。

9/21、9/23 は授業実習で、それ以外は授業参観をしていました。

9/16 に実習する教科が決まり、それから教案作成と授業準備をしました。大学の近くにダイソーがあったので、日本から持っていったのでは足りなかった画用紙やセロハンテープはそこで買い足しました。

【時間割】

	月	火	水	木	金
1 (9:00-9:50)				日本語講読Ⅱ	
2 (10:00-10:50)	日小説教育論				
3 (11:00-11:50)	日本語 JLPT	日本語Ⅱ	日小説教育論	日本文化	日本語会話Ⅰ
4 (12:00-12:50)					
5 (13:00-13:50)					
6 (14:00-14:50)		日本語Ⅱ	実用日本語会話	日本漢字教育	日本語会話Ⅰ
7 (15:00-15:50)					
8 (16:00-16:50)	日本語講読Ⅱ				
9 (17:00-17:50)					

授業は1コマ50分で、授業と授業の間に10分の休憩がありました。ほとんどの授業は2コマで1回の授業となっていました。私たちが授業見学させてもらったのは8科目で、一日に4コマから5コマを見学しました。

【実習・授業について】

第1～2週目は授業見学で、第3週目で実習を行いました。見学した授業は、「日小説教育論」「日本語 JLPT」「日本語講読Ⅱ」「日本語Ⅱ（教養）」「実用日本語会話（進路）」「日本文化」「日本漢字教育」「日本語会話Ⅰ」の8科目でした。授業はすべて韓国語なので、内容などを理解するのが難しいところもありましたが、先生方が私たちにも分かりやすいように説明をして下さったので、楽しく授業を見学させてもらうことができました。

また、実際に「実用日本語会話（進路）」「日本語会話Ⅰ」で実習を行いました。今回 JIP の参加者が4人だったので、慶南大学で「実用日本語会話（進路）」の授業をする人と高校へ行き日本文化等を教える人（2人ずつ）に分かれて実習をしました。「実用日本語会話（進路）」では、1人50分ずつ授業実習をさせてもらいました。学生は少人数で、日本語のレベル

もバラバラでしたが、みんな積極的に発言をしてくれました。「日本語会話 I」はAクラスとBクラスに分かれており、それぞれ50分を2人ずつで授業を行いました。両クラスとも30人前後の生徒数で、日本語のレベルは日本語能力試験3級ぐらいでした。文字カードや絵カードを使い、学生達の反応を見ながら楽しんで実習を行うことができました。



【高校での実習】



研修先である慶南大学の近隣にある合浦高等学校という高校に日本語を教えに行きました。韓国の高校では、外国語の勉強で英語を第一言語とし、第二言語の中からもひとつ選択しなければなりません（日本語・中国語・フランス語など）。クラスのレベ

ルは挨拶程度しかできない生徒がほとんどで、何を教えるかすごく悩んだのですが、40分ほどの持ち時間で文法をきっちり教えるよりは、日本に興味を持ってもらうため軽い内容にした方がいいのではないかと思います。一緒に研修に行った竹中さんと私は、去年一年間韓国に留学してある程度韓国語が話せるということもあり、授業は全て韓国語で行いました。

最初教室に入った途端、日本人が珍しいのか歓声が巻き起こりました。みんな「こんにちは」「はじめまして」と日本語で挨拶してくれました。クラスは全員女子で、エネルギーに満ち溢れていました。

内容は、日本の主な観光地（姫路、北海道、東京、大阪、沖縄）をパワーポイントで紹介し、次に日本の高校生の紹介をしました。最近流行しているAKB48を紹介したらみんなそれぞれ反応を示していました。次に日本のじゃんけんで、私たち先生と生徒が対決するという形にしました。韓国のじゃんけんルールは同じですが、掛け声が違います。

最後に質疑応答の時間を設け、日本に対して何でも気になることを聞いてもらうことにしました。すると今まで恥ずかしがっていた生徒も、質問をしてくれるようになりました。「日本で一番人気のある韓国の芸能人は？」「日本でアルバイトをしたら、時給はいくらか？」など、たくさんの質問が飛び交いました。最初はみんな恥ずかしがっていましたが、段々打ち解けてクラスの雰囲気が良くなったので良かったです。



【ホテル・生活】

私たちが実習の間、宿として利用していたホテルは「馬山（マサン）観光ホテル」というホテルでした。海辺に面したとても景色の良いホテルで、朝はかもめの声と漁港に出入りする船の汽笛の音が聞こえ、夜は漁港のライトが水面に反射して美しい夜景も見ることのできるホテルで、実習で泊まるにはもったいないぐらいのホテルでした。



毎日掃除もしていただけて、フロントの人に言えば洗濯物も預かってくださるので、基本的なサービスはしっかり整っていました。

【休日・観光】

私たちが行った時、韓国のお盆とちょうど重なり、19泊20日中、土日も合わせて約1週間程度の休みがありました。私たちが滞在していた馬山は、韓国第二の都市である釜山に近いので、そこを訪れて観光したり、馬山の繁華街を観光したりして、チゲやチキンを食べるなど、充実した休日を送ることができました。授業が終わるとだいたい学校の近くにある食堂などで食事をしていましたが、毎日のようにお酒を飲んでいる学生たちの姿を目にしたため、韓国の学生は本当にお酒が好きなんだと改めて感じさせられました。



【感想】

私は今回初めて JIP に参加しました。最初は韓国語も全く分からない状態で、実習をするということで不安でいっぱいでしたが、先生方・友達や韓国の学生達がサポートをしてくれたので、充実した日々を送ることができました。また、海外で生活し異文化に触れることで、改めて「日本語」「日本人」や「日本という国」について考えることができました。この貴重な体験で学んだことを、今後の勉強に生かしていきたいと思います。今回お世話になった方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。(北村瑞穂)

【感想】

私自身、韓国の人に日本語を教えるということは初めてではなかったのですが、大人数を相手にしたのは今回が初めての経験でした。レベルも様々で、どの程度の詳しい説明が必要なのか見当がつかず、丸一日ホテルにこもって考えた日もありました。教案を作りながら自分自身が混乱してしまう時もあり、まだまだ勉強不足だと思いました。今回の体験を通じて、日本語を教える難しさ、そして、日本語の奥深さを改めて感じさせられました。貴重な体験をさせていただき、本当に感謝しています。今回、勉強したことを参考に、自身のこれからの勉強に役立てていきたいと思います。ありがとうございました。(竹中唯希)

【感想】

私は韓国語を話せない状態で今回の JIP プログラムに参加させていただきました。普段韓国語で授業を受けている学生に、日本語だけで日本語を教えるというのは不安でしたが、ほとんどの学生は簡単な日本語や絵を使った状況説明などで、理解してくれていました。時間をかけた授業準備の大切さを再確認しました。韓国の学生はとても勉強熱心で、授業が終わった後も質問にきてくれて嬉しかったです。ただ、「と言ってもいいほど」と「と言

っても過言ではない」の意味の違いなど咄嗟に答えられない質問もあり、自分の勉強不足も感じました。今回参加させていただいて、たくさんのことを学びました。これをいかして、これからも頑張りたいとおもいます。本当にありがとうございました。(田村莉奈)

【感想】

慶南大学の学生は日本語教育学科ということもあり、日本語を本気で勉強している学生がほとんどですが、中には日本語があまりできない人もいました。ひとつの教室でそのレベルの差が大きかったので、どのように教えたらいいのかが難しかったです。今回現地で教えてみて、言葉が通じないもどかしさ、授業をするまでの準備の多さ、教えることの難しさを実感しました。日本人だからといって誰でも日本語を教えられる訳ではないのだと痛感しましたし、もっと勉強と実践を積んでいかなければならないと思いました。大変な研修ではありましたが、これからの人生のためになる有意義な経験でした。(橋本知佳)

